



KYOTO UNIVERSITY
SYMPHONY ORCHESTRA

京都大学交響楽団

KYOTO UNIVERSITY SYMPHONY ORCHESTRA

皆さんは京都大学に学生によって結成されたオーケストラがあるのをご存じですか？ その名も「京都大学交響楽団」、通称「京大オケ」。昨今は音楽のサブスクリプションサービスが流行していますが、そんな今こそ学生オーケストラの至極の演奏に耳を傾けてみるのはいかがでしょうか。（月影・一竹）

♪ 代表の方にインタビューしました！



川久保毅さん（理・3）
担当楽器：ビオラ

——主な活動について教えてください。

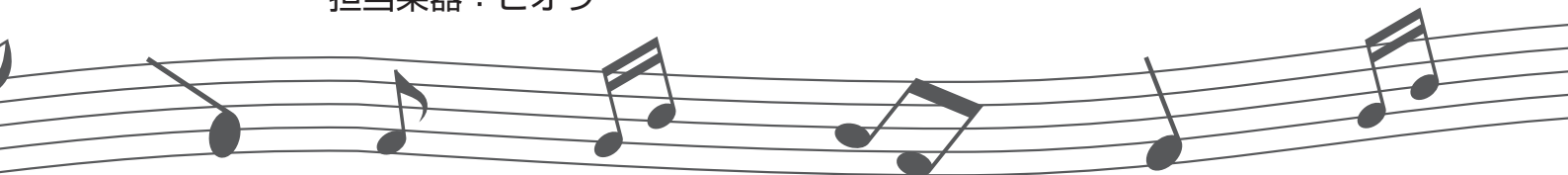
主な活動としては、定期演奏会が年に2回あって、その練習としてパートごとに合わせたり全体で合わせたりということをしています。全体での練習は定期演奏会前だと週に3回あり、それに加えて個人練習もしています。新型コロナウイルス流行前には、それ以外の時期に全国各地で演奏会をしたり、各々でアンサンブルを組んで楽しんだりしていました。

——練習はどこでしていますか？

吉田南構内にある学生集会所で主に練習しています。コロナの前は24時間開いていて、深夜に行っても誰かが個人練習しているという状態だったそうです（笑）今も開いている時間はそこで多くの人が熱心に練習していますし、他にも京都市の施設を使わせてもらったり、鴨川沿いで練習したりしている人もいますね。

——初心者でもついていきますか？

経験者が多いのは確かですが、大学から新たに楽器を始めたい人も3割ほどいます。私も大学に入ってから今の楽器を始



♪ 定期演奏会の様子

2021年12月23日、大阪にあるザ・シンフォニーホールで第210回の定期演奏会が行われた。演奏会の幕開けは、ブラームス作曲「大学祝典序曲 ハ短調 Op.80」。オーケストラ特有の重厚なサウンドに包まれ、京大オケの音色に引き込まれていった。

2曲目、ハイドン作曲「交響曲第45番 嬰へ短調『告別』」は、奏者が曲の最後に演奏を終えると1人ずつ退場していく、という仕掛けが面白い。交響曲というと硬派な印象があるが、

作曲の背景を知るとハイドンのユーモアが、現代においてもなお聴衆の心を強く掴んで離さないように思われる。

休憩を挟み、ブラームス作曲「交響曲第2番 ニ長調 Op.73」。奏者の方からは、コロナ禍で恐らく合奏をすることさえままならない状況が約2年間続いた中、ようやく実現にこぎ着けた演奏会を心から楽しむ様子が伝わってきた。コロナ禍を経て十分すぎるほど認識させられた、合奏ができること、演奏会ができること、それを生で聴けることがどれほど当たり前ではないという事実を、ホールにいる全員が改めて噛みしめ、かけがえのない時間を心一杯満喫しようとしている、そんな感覚を覚えた夜だった。

はみだし
すてーじ

冬号のかんたんCookingのロゴがロシア語になってる〜！ でもフランス語選択なので何と書いてあるかわからん（汗）

⇒真都。さん曰く「プロースタイエプリガタヴェーニエ」だそうですよ。

（理・4 一沫模様）
（月影はしりませんでした；編）

めました。楽器をやりたいという気持ちさえあれば大丈夫です。入るときにオーディションがあるわけでもないの、やりたい楽器をやることができます。

——オーケストラにはどのようなパートがありますか？

大きく分けると弦楽器、管楽器、打楽器の3つのパートがあります。弦楽器が入っているのが吹奏楽と違うところですね。人数が一番多いので、比較的未経験者が多いパートが弦楽器です。管楽器は弦楽器より人数が少なく経験者も多いので、演奏会に出るための競争が激しいパートです。打楽器は曲によって必要な人数が変わってきますが、複数の楽器を叩かないといけないのが大変そうだなと思っています。

——京大オケの歴史を教えてください。

1916年に創立された日本でも有数の歴史を持つ楽団で、戦時中も絶やすことなく年に2回の定期演奏会を続けてきて、2021年12月の演奏会で210回目を迎えました。プロの音楽家も輩出していますし、ノーベル賞を受賞された本庶佑先生も所属されていたそうです。長い歴史とその中で積み上げてきた高い技術が京大オケの魅力です。

——演奏会までの流れを教えてください。

演奏会の責任者が決まったら、まず最初に指揮をしていた方を決めます。指揮者の先生のスケジュールが埋まってしまう前にお願いしなければいけないので、演奏会の2年前ぐらいには決定することになります。実際に演奏する曲を決めるのは演奏会の3か月前ぐらいで、そこから個人練習やパートごとの練習を重ね、時には指揮者の先生にも指導していただきながら完成度を上げていくという流れです。

——先ほども少し話題に上がりましたが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたのではないですか？

オーケストラは屋内でやるものなので、特に大きな影響を受けたと思います。大学からの活動制限で、団員の3割ぐらゐを占める他大学の学生が活動に参加できなくなってしまったのも大きかったですね。京大生だけの活動すら出来ない時期も長く、どうやったら演奏会を成功させられるだろうかと悩みました。大学とも交渉しながら、様々な制約付きではありますがなんとか練習ができて、演奏会も開催することができました。

——演奏会をライブ配信で行うことになりましたが、その準備はどうでしたか？

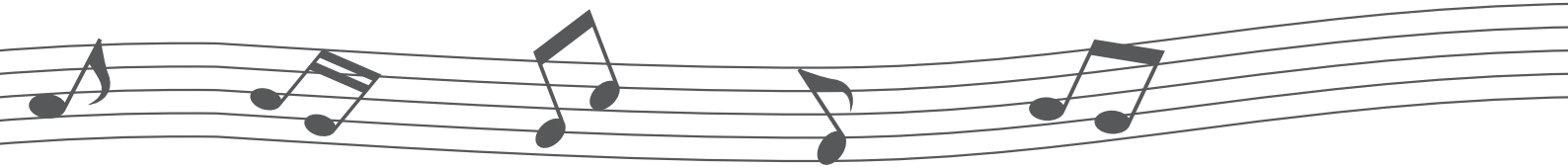
ライブ配信は初めてだったのでそれ自体も大変ですし、演奏会というのはお客さんがいてこそものなので、一般のお客さんに演奏会をやることを知ってもらうための宣伝にも苦労しました。

——今後の活動に向けての想いを教えてください。

今回（2021年12月）の演奏会は京大生だけでやることになりましたが、いつも他大生の方に支えてもらっている部分も大きいので、今後の演奏会では他大生の方と一緒にやりたいですね。それから、一般のお客さんにも会場に来ていただきたいですし、なにより演奏会を絶やさないようにしたいと強く思っています。

——最後に、読者の方々へメッセージをお願いします。

大勢で一つの目標に向かって努力している団体というのはあまり多くないと思うので、そういう経験がしたい方はぜひ京大オケに入っていたきたいと思ひますし、歴史ある京大オケのクオリティの高い演奏会を次回はより多くの方に楽しんでいただきたいです！



▲ 2曲目 交響曲第45番 嬰へ短調『告別』 ハイドン作曲

もっと詳しい情報が知りたい方はこちら！

Twitter ⇒ @kyodaioke

Instagram ⇒ @kyodaioke

HP ⇒ <https://www.kyodaioke.com/>

パートごとの SNS アカウントもあるので、そちらもぜひチェックしてみてください！

はみだし
すてーじ

キエフ風カツレツ美味しそうなので作ってみます！
⇒執筆者には非常にうれしいお言葉ありがとうございます。

(農・3 オムライス)
(ぜひ作ってみた感想も読者カードでお寄せください；編)